

すべての国で核兵器禁止条約の批准を 2018年スタート集会



核兵器の終わりか、それとも私たちの終わりか。

ヒロシマ・ナガサキから73年目を迎えようとしている今でもこの地球上では約1万5千発の核兵器が存在しています。核兵器保有国は高性能で使い勝手のよい核兵器開発や核兵器を背景とする恫喝外交を続けており、核の脅威は深刻化しています。しかし、核兵器の廃絶を願う世界の声は、昨年、国連における核兵器禁止条約の採択やICANのノーベル平和賞受賞に象徴されるように、確実に前進し新たな状況をつくり出しました。ヒバクシャの存在と声、そして世界に広がるヒバクシャ国際署名がその源です。今年もヒバクシャ国際署名を大きくひろげていきましょう。

日時：2018年4月25日（水）13時30分（開場：13時）～15時30分
会場：新横浜オルタナティブ生活館 スペースオルタ

◆海外活動報告

和田 征子さん 日本原水爆被害者団体協議会事務局次長・浜友会会長
11月にバチカンで開催されたローマ法王庁主催の「核なき世界への道筋を議論し展望を示す国際シンポジウム」に出席

福島 富子さん 神奈川県原爆被災者の会 葉山はざくらの会会長
12月にオスロで開催されたICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)のノーベル平和賞受賞を現地で祝い、関連行事に参加して「核なき世界」を訴え



◆核兵器をめぐる動きとヒバクシャ国際署名の呼び掛け

林田 光弘さん ヒバクシャ国際署名キャンペーンリーダー 明治学院大学



◆各生協からの報告

ヒバクシャ国際署名を大きくひろげよう

◆まとめの挨拶

神奈川県原爆被災者の会会長



「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」をひろげよう

主催：ヒバクシャ国際署名生協推進委員会（當具伸一委員長）